

三浦新春親善レース 2016  
(リビエラ湘南レース 1月)

帆走指示書



1. 適用規則

1-1.RRS 2013-2016

1-2.本帆走指示書・レース公示

1-3.IRC クラスのみ IRC2015 ルール

2. 参加者への通告

2-1. 競技者への通告は、シーボニア内レース本部（ハーバー事務所）に設置される公式掲示板に掲示される。

2-2. 帆走指示書の変更は、レース本部の公式掲示板に当日 8 時 30 分までに掲示する。海上で帆走指示書を変更する場合本部艇より口頭で通告される。(RRS 規則 90.2(c)の適用)

2-3. 荒天による中止の場合は、公式掲示板による掲示以外に、近隣の各ハーバーへも FAX または電話にて通知する。

海上集合後においては本部艇に N/H 旗又は N/A 旗を掲揚するとともに、運営艇によりできるだけ各艇に通知する。

ただし通知がレース艇に伝わるかどうかについてレース運営者は責任を持たない。

荒天の場合陸上での中止は当日の午前 8 時 30 分までに決定する。

3. 出艇申告書兼乗員リストの提出

3-1. 出艇申告書兼乗員リストはレース当日の 1 月 10 日（日）8：30 より 9：30 までにレース本部に提出する事。

3-2. 遠方からの参加などでやむを得ず提出できない艇は、事前に FAX にて申告すること。

3-3. 出艇申告をしたにもかかわらずスタートしなかった艇は、その艇の責任者が速やかにレース本部に届けること。

3-4. IRC クラスに関しては IRC ルール 22.4 は適用しない。

4. ライフジャケットの着用

レース艇の乗員はスタート予告信号からフィニッシュまたはリタイアするまでライフジャケットを着用していなければならない。膨張式の場合、最低各艇 1 個は口吹きで膨らませてみるなど点検をする事。

5. レース艇の認識

5-1. レース旗を、スターン付近の目立つ位置に掲揚しなければならない。

5-2. レース参加艇は、レース旗として湘南レース旗を用いる。

5-3. IRC クラス（湘南レース I クラス）はレース旗の上方にクラス旗としてイエロー旗を掲揚すること。イエロー旗・湘南レース旗の手持ちが無い艇は事前に連絡のうえ、出艇申告時に受け取ることができる。

5-4. セールナンバーの無い艇にはリコールナンバーを支給することがある。マストより前方のライフラインに掲示しなければならない。

（リコールナンバー保証金 3.000 円で貸与する。表彰式にてナンバー返却時に返金する。）

## 6. レース日程

2016 年

1月10日(日) 10:25 予告信号(原則として全クラス同時。艇数が多い場合はクラス分けする。)

14:00 タイムリミット

15:00 表彰式(リビエラマリンクラブ・プールサイド)

## 7. コース

スタート(小網代灯標付近)→秋谷沖マーク(反時計)→フィニッシュ(小網代灯浮標付近)

秋谷沖マークのおおよその位置北緯 35 度 13 分 8 秒東経 139 度 34 分 2 秒

マークの位置はおおよその位置であり状況によりずれる場合もある。

亀城礁灯台の東側を通過してはいけない。ウェザーマークなどの設置は行わない。

## 8. マーク

8-1. 黄色の膨張ブイを使用する。リビエラの文字入り

8-2. M 旗を掲揚した運営艇を代替マークとする場合錨泊していない場合もある。

## 9. スタート・ライン

9-1. スタート・ラインは、本部艇のリビエラカップ旗掲揚のマスト又はポールとリミットマークの見通し線とする。

9-2. スタート・ラインはスタートの 10 分後に消滅する。それまでにスタートしなかった艇は DNS と記録される。

## 10. フィニッシュ・ライン

フィニッシュ・ラインは本部艇または公式運営艇のリビエラカップ旗掲揚のマスト又はポールとリミットマークの間とする。

## 11. スタート方法

(原則として全クラス同時。艇数が多い場合は OPEN クラス、IRC クラスに分ける。)

11-1. RRS 規則 26 に従ってスタートは行われる。(以下参考)

予告信号(5分前) クラス旗掲揚音響信号1声

準備信号(4分前) P 又は I 旗など掲揚音響信号1声

1分信号(P/I など) 準備旗降下長音1声

スタート クラス旗降下音響信号1声

★クラス旗 OPEN クラス(湘南レース N クラス): 湘南レース旗

IRC クラス(湘南レース I クラス): イエロー旗

※参考 I 旗が準備信号として掲揚された場合: RRS 規則 30.1 (I 旗規則) を適用する。

スタート信号の 1 分前に艇体、乗員または装備の一部でもスタート・ライン又はそのどちらかの延長線のコース・サイドにある場合には、その艇はその後スタートする前に、コース・サイドからスタート・ラインの延長線を横切り、プレスタート・サイドまで帆走しなければならない。

## 12. 個別のリコール

個別のリコール艇があった場合、音響信号 1 声とともに、X 旗を掲揚する。X 旗はリコール艇の全てが、スタート・ラインの延長線のプレ・スタート・サイドに完全に入るまで、またはスタート信号後 4 分後までのうち早い方まで掲げられる。

13. ゼネラル・リコール
  - 13-1. ゼネラル・リコールの場合は、音響信号 2 声とともに第 1 代表旗を掲揚する。
  - 13-2. ゼネラル・リコール後の再スタートは第 1 代表旗降下 1 分後に予告信号を発する。
  - 13-3. 艇数によりスタートをクラス分けする場合もスタート順は変わらない。
14. コースの短縮
  - 14-1. コースの短縮は、回航マークにて行われる。リビエラカップ旗を掲げた公式運営艇に S 旗を掲げ音響信号 2 声を発する。公式運営艇のリビエラカップ旗を掲げたマスト又はポールと黄色のブイの間をフィニッシュ・ラインとする。
  - 14-2. S 旗と同時にクラス旗が掲揚されている場合、当該クラスのみコース短縮とする。
  - 14-3. コース短縮の公式運営艇は錨泊していない場合もある。
15. 帰着申告

フィニッシュを持って帰着申告とする。スタートしたにもかかわらずフィニッシュしなかった艇は、速やかにその艇の責任者がレース本部に連絡する事。

●海上にてレースが中止となった場合、各艇は帰港後速やかにレース本部に帰着申告をしなければならない。シーボニア以外へ帰港した艇は電話でも受け付ける。艇名、連絡者名、船体乗員の状況を報告する事。(厳守) ●
16. 事故報告

人員の負傷、落水など、また船体の損傷を伴う、衝突、座礁などがあつた場合、抗議救済の要求の有無に関わらず事故報告書をレース本部まで提出すること。事故状況、日時、関係艇、場所、提出者名、連絡先などを書面で FAX または持参する事。
17. タイムリミット

全艇 14 時とする。14 時までにフィニッシュしなかった艇は DNF と記録される。(RRS 規則 35 の変更)
18. レースの成立

各クラスのトップ艇のフィニッシュをもって成立とする。
19. 失格に代わる罰則

RRS 第 2 章および RRS31 の規則違反については RRS 規則 44.1 及び 44.2 を適用する。
20. 抗議 (救済の要求)
  - 20-1. 抗議 (救済の要求) は RRS61 (RRS62) に従い、かつフィニッシュ後速やかにフィニッシュ運営艇にその意思を伝えなければならない。抗議書はレース本部に、自艇のフィニッシュ後 90 分以内に提出しなければならない。(RRS 規則 61.3 の変更)
  - 20-2. 審問の開始時間及び場所は公式掲示板に掲示し、関係者に通告される。抗議者・被抗議者及び証人は出席しなければならない。
21. 成績の算出
  - 21-1. IRC クラス (湘南レース I クラス) : 2015 年 IRC TCC 数値によるタイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合 TCC 数値の小さい艇を上位とする。

21-2. OPEN クラス（湘南レース N クラス）・新春親善レース成績：レース委員会が設定した TMF によるタイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。

修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合 TMF 数値の小さい艇を上位とする。

湘南レース成績：レース委員会が設定した TMF によるタイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。

また、以下の申告があった場合所要時間に各修正値を減じて修正時間を算出する。修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合 TMF 数値の小さい艇を上位とする。

◇女性、小学生以下、65 歳以上乗艇の各 1 名につき：-1%

◇乗員 3 名以下の参加の場合：-1%

◇ジブフーラー使用：-1%

◇スピネーカー（ジェネカーなど）不使用：-2%

◇合計 10%を限度とする。

## 22. 責任の所在

レース参加艇の乗員及び艇体の安全もしくは事故（死亡・障害・沈没・損傷など）については、その責任はレース参加艇が負うものとし、主催者ならびに大会関係諸団体、運営者はその責任を一切負わない。

レースに参加するか否か、またレースを続行するか否かを含めてすべてレース艇の乗員が判断することでありレース委員会など運営者は責任を持たない。自艇にとって危険と判断した場合などは、自己責任で出艇の取りやめ、リタイアなどをする事。

## 23. ごみの処分

レース艇及び支援艇から出たごみは、海上で投棄せず自艇で所持し続け、持ち帰り、陸上で処分しなければならない。これにはスピネーカーの毛糸・ゴムバンドなども含む。

## 24. レース本部の所在

〒238-0225 三浦市小網代 1286 シーボニアマリーナハーバー事務所内

ヨットレース事務局 Tel. 046-882-1286

（JSAF 三浦オーシャンセーリングクラブ・シーボニアフリート）

以上

## 帆走指示書の変更

## 5. レース艇の認識に下記の項目を追加する。

5-5. 三浦新春親善レース 2016 のみ参加の艇はレース旗の上方に白旗を掲揚する。

※当日出艇申告時に手渡す。

※当日レース本部に来れない場合は海上で手渡すので事前に申告すること。

以上

2016.01.09